

子宮脱の手術（腔式子宮単摘、腔壁形成、仙棘靱帯固定術）を受けられる患者様へ

骨盤臓器脱パス【12017-00】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1/1

日付	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/	/
入院日数	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5～7 日目	8 日目	9 日目
イベント	入院日	手術前	手術後	手術後 1 日目	手術後 2 日目	手術後 3～5 日目	手術後 6 日目 退院
目標 毎日看護師と 評価します	☐ 38 度以上の発熱がない ☐ 手術や術後に対する不安や疑問を言える ☐ オリエンテーション内容がわかる ☐ 体の準備が整っている		☐ 創部痛のコントロールができる			☐ 感染徴候（採血で白血球・炎症反応の上昇や発熱）がない	
			☐ 血圧、脈拍、体温が安定して経過する			☐ 安全に歩行でき、行動拡大の必要性が理解できる ☐ 排便コントロールができる	
			☐ 腹部痛が増強しない ☐ ベッド上安静の必要性が理解できる。			☐ 排尿障害が起こる可能性を理解できる ☐ 退院後の生活の注意点が言える	
内服 注射	☐ 薬を飲んでいる人は、看護師にお知らせください。 *下剤・睡眠薬・市販薬・サプリメントなども含みます。	☐ （ ）時より点滴があります。 *麻酔科医の指示により薬の内服を中止します。 	☐ 点滴をしています（補液・抗生剤） ☐ 背中に痛み止めの管が入っていることがあります。	☐ 点滴があります（補液・抗生剤） ☐ 朝から薬の内服を再開します。	☐ 点滴があります。 →終了後抜針します。		
検査		時計・入れ歯・指輪・眼鏡・コンタクト・髪留め・化粧・マニキュアは外して下さい	☐ 採血があります 			術後 3 日目 ☐ 採血があります。 ☐ 術後 3 日目に降に退院診察と腎臓検査があります 	☐ 採血があります  ☐ 退院 *基本的に午前退院です
治療 処置	☐ 20 時頃浣腸があります。 *便の性状を確認させていただきたいので、トイレからナースコールでお知らせ下さい。 ☐ 陰部の毛の処理があります。	☐ 7～8 時頃浣腸があります。 ☐ 新しい病衣に着替えます。 ☐ 血栓予防のための弾性ストッキングを履きます。 ☐ 部屋移動します	☐ 酸素マスクが装着されています。 ☐ 定期的に体温や血圧を測定します。 ☐ 腔内にガーゼが入っています。 ☐ 足に血栓予防のマッサージ機がついてきます	☐ 回診時、背中の痛み止めの管と腔ガーゼを抜きます。 *痛みが出現したときは、痛み止めを使用しますので我慢せずお知らせ下さい。	退院基準：日常生活の注意点を理解し実施できる		
食事 飲水	*アレルギーや制限のある方は看護師にお知らせください。 ☐ 夕食まで食べることができます。 ☐ 絶食の時間は麻酔科医から指示が出ます。	絶飲食の時間は麻酔科医より指示が出ます。 *うがいは行うことができます。（飲み込まないようにしてください）	☐ 起床後から水分を摂ることができます。 ☐ 全粥がです。	☐ 普通食に戻ります。			
清潔	必ずシャワー浴してください。	☐ 発汗時タオルで身体を拭くことができます。		☐ シャワー浴可能です			
排泄		☐ 尿の管が入っています。（術後 3 日目まで）	☐ タオルで身体を拭き、着替えを行います	術後 3 日目 ☐ 尿の管を抜きます。尿を機械に貯めていただきます。			
安静 活動	病院内自由です。 *処置や説明がありますので、病棟を離れるときには担当看護師にお知らせください。	☐ いつ呼ばれるかわからないので、なるべく部屋で過ごしてください。	ベッド上安静です。 *床ずれ予防のため、身体の向きを変えていきます。	☐ 歩行することができます。 *最初の歩行は看護師と一緒に行います ☐ 背中の痛み止めを抜いた後は病棟内自由です。	☐ 病院内自由です。		
説明 指導	☐ 入院後、担当看護師から入院生活・手術前後についての説明があります。 ☐ 担当医師から手術についての説明があります。 ☐ 麻酔科医・手術室の看護師からの説明があります。	手術は（ ）時頃呼ばれる予定です。 *時間変更することがあります。 	☐ 手術後、担当医からご家族への手術の説明を行います。 *手術中、家族の方は病棟を離れる際は看護師に伝えてください。			☐ 骨盤底筋体操教室があります。（ / ）	☐ 担当看護師から退院後の生活についての説明があります。疑問点などがありましたら、遠慮なくお聞き下さい。